

# 大学生と教育旅行市場への取り組み強化

## JOTC・2018年度第1回全体会に120人

JATAアウトバウンド促進協議会（JOTC）は6月25日、2018年度第1回全体会を開催しました。

JOTC役員と6部会に所属する会員など120人が参加した全体会の冒頭で、JOTC会長を務めるワールド航空サービスの菊間潤吾会長は、2017年の日本人出国者数が1789万人に達し、今年に入ってから出国者数が堅調に推移していることから、「今年は通年で1850万人〜1900万人の達成も可能と考えている」と説明。同時に、出国率が依然として低い水準にとどまっていることを指摘し、「特に若年層のパスポート取得率向上を図ることが、2020年の2000万人達成に向けて重要となる」と強調しました。

また、来賓として登壇した観光庁の瓦林康人審議官は、順調に増加している訪日外国人旅行者数と伸び悩みが



2018年度のJOTC第1回全体会で挨拶する菊間潤吾会長



全体会には役員と6部会に所属する企業・組織などの120人が参加しました

続く日本人出国者数の不均衡について、その是正が必要という見解を表明。「各国との関係構築を進めていくためにもアウトバウンドの振興が必要となる」と語り、昨年発足した「若者のアウトバウンド活性化に関する検討会」で報告書を取りまとめ発表することを明らかにしました。同審議官は、観光庁としても「諸外国と比べても遜色のないアウトバウンドのマーケティングも考えている」と語っています。

JOTCでは、2018年度の活動として、若年層における海外旅行者数の拡大を目指して大学生と海外教育旅行市場への取り組み強化を打ち出しています。

大学生の需要掘り起こしに向けては、昨年試験的に実施した学園祭でのワークショップセミナーを積極的に開催し、外国を身近に感じてもらえるような体験の場を増やしていく方針です。また中高生の海外体験が国の発展にとつても非常に重要であるという観点から、文部科学省の支援により専門家を招き、東京と大阪で学校の先生を対象としたセミナーも開催します。

## JOTC・航空会社インタビュー 第1回

### ターキッシュエアラインズ / メフメット・アカイ日本支社長

#### 東京ダブルデイリー化と関空路線復活を計画

JOTCではJATA会員と航空会社との連携を強化し、日本人海外旅行者数の増加に必須である航空座席の拡充を図っています。そこで今月からJOTC会員の航空会社代表にお話を伺い、旅行業界との連携強化に向けた考え方などをお聞かせいただきます。



—日本市場での需要拡大に向けての重点的な取り組みは。

**アカイ** 二つあります。一つ目は機材の大型化と増便です。5月から成田路線にボーイング777型機が就航し、座席数が1便当たり60席増えました。また、羽田空港も含めて東京からのダブルデイリー化と関西国際空港からの路線復活を計画しています。二つ目は日本人向け座席供給の拡大です。昨年は日本国内で販売した座席数は全体の55%でしたが、今年は65%に拡大することを目指しています。今年に入ってから搭乗率が90%以上を維持しているため、増便計画は「待たなし」となっています。

—イスタンブール新空港が今年10月に供用開始と聞きました。

**アカイ** 工事は順調で滑走路はすでに完成し、建物も90%以上ができています。開業初年度の利用者数は9000万人と見込まれていますが、将来的には年間2億人の利用者数を目指しています。新空港の開業により、世界の各方面に大幅な増便が予定されていることから、空

港の利便性も大幅に拡充されることとなります。当社としては、トルコが非常に親日的な国であることから、新空港の開業を機に、日本航空と全日空の両社にイスタンブールへの路線開設を強く希望しており、両社の就航が実現すれば、両国間の人的交流はさらに拡大すると期待しています。

—日本の旅行会社への最新情報などをお聞かせください。

**アカイ** 新たに「イスタンブール・ストップオーバー・プロジェクト」を計画しています。これは、エコノミークラスの場合は4つ星ホテルに1泊、ビジネスクラスの場合は5つ星ホテルに2泊、いずれもイスタンブール市内で滞在していただき、イスタンブールを大いに楽しんでもらうというものです。

#### ターキッシュエアラインズ

<https://www.turkishairlines.com/ja-jp/>  
 連絡先: ターキッシュエアラインズ東京支社営業部  
 Email: TOKYOSALESMG@THY.COM

※インタビューの全文はJOTCのホームページ (<http://www.jata-net.or.jp/outbound/>)でお読みいただけます